

## インフルエンザ - ウイルス分離状況 -

今シーズンに国内で分離されているインフルエンザウイルスは、分離件数の多い順に、B型(2月25日現在の全国報告数 747件)、A香港型(同 421件)、Aソ連型(同 108件)です。埼玉県においても同様の状況であり、3月8日までの分離数はB型 29件、A香港型 22件、Aソ連型 1件です。この他、同時期に呼吸器疾患が疑われた検体からはアデノウイルス(1型 1件、2型 1件、3型 3件)、RSウイルス 1件などが分離されています。県内のインフルエンザウイルス等の分離状況を検体採取週別(図1)および年齢階級別(図2)に示しました。

図1 インフルエンザウイルス等分離数(検体採取週別)

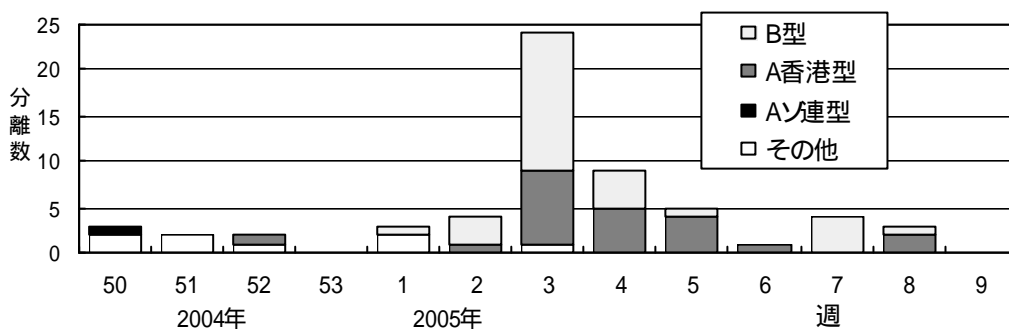
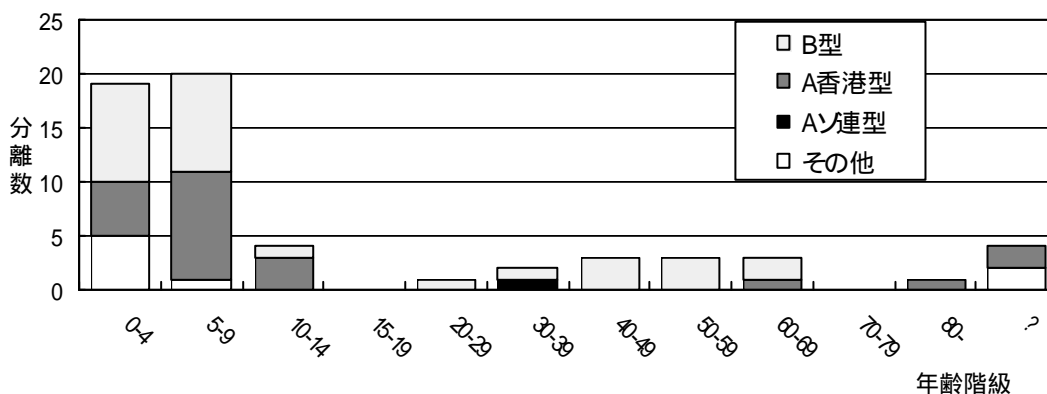


図2 インフルエンザウイルス等分離数(年齢階級別)



3月に入って、インフルエンザ流行のピークは過ぎたと思われませんが、B型の流行は春先まで続くことが多いので、まだしばらくは注意が必要です。

病原体定点の先生方には、引き続き検体採取に御協力をお願いいたします。

インフルエンザに関する全国情報は、国立感染症研究所感染症情報センターのホームページ (<http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>) で御覧いただけます。